

あんどくりすの防災四季だより  
第29回 放送日：2019.10.18（金）  
パーソナリティー：あんどくりす  
テーマ：発電機の話



「命を守る」という大切なことに役立つのは、  
アウトドアのスキル。

阪神大震災を被災した「あんどくりす」さんが、  
防災・減災の方法を楽しく導きます。

長期にわたる停電に、備えて、  
身近で使える、  
小型発電機を考えてみませんか？

医療用酸素ポンペを届ける会社の取り  
組みにも注目します。





9月に襲来した台風15号の被害により、  
千葉県では長い間、停電していました。



大変ご苦労されたことと思います。

人工呼吸器などの高度管理医療機器を、  
在宅で日常的に使っている人たちは、

電気が無いと命に係わる事が起こってきます。

灯りを取る為のライトの話もしましたが、

発電機についても  
お話したいと思います。



# 小型発電機に注目

小型発電機って、  
そんなに安い物ではないんですね。

インバータ付きだと、  
だいたい10万円以上しますから、

持っていないという方が大半だと思います。

最近は「エネポ(HONDA)」など、  
カセットガスで使えるというのも出ています。

可能であれば  
ぜひ手に入れてほしいなあと思います。



それらの小型発電機を使う時に、  
気を付けていただきたいのは、



本体を **外に置いて使うこと！**

一酸化炭素を含む、  
有害なガスが発生するからです。



カセットガスだからと、  
つつい部屋の中で使おうとする人がいるの  
ですが、  
実際に事故も起こっています。

発電機があって、  
電気が起こせるということがあると

医療機器を使用している方たちは安心です。

(※東京電力では、  
医療機器を使用している方に向け、貸し出しをしています)

東京電力パワーグリッド

<http://www.tepco.co.jp/keikakuteiden/attention-j.html>

ご自宅で人工呼吸器等の医療機器をご使用されており、  
バッテリー等の代替電源がないお客さまにおかれましては、  
当社が保有している小型発電機等を可能な限りお貸しいたします。  
お近くのカスタマーセンターまでご連絡ください。

※小型発電機等からの排気ガスには  
一酸化炭素などの有害物質が含まれておりますので、  
小型発電機等は室内では使用しないでください。



# 医療用酸素ポンベを運ぶ

医療器具使用の人の中には、  
酸素ポンベを必要としている方もいらっしゃいます。

岩手県北上市に、

北良株式会社(ほくりょうかぶしきがいしゃ)  
というガス会社があります。(※)

病院や、必要としている家庭へ  
酸素ポンベを届けています。

※  
北良株式会社(北良ガス)  
<https://www.hokuryo.biz/index.html>





東日本大震災の際には、  
酸素ボンベを届けようとしたが、

必要としている方の、避難先が分からない。

自衛隊のヘリなどで、  
どこかに搬送されてしまったり、

生死もはっきりわからないで困った。

ということがあったそうです。



そこで、

そういった方たちのもとへ  
確実に酸素ボンベを届けられるようにしなければ！

ということで、  
震災後、いろいろな工夫をされたのです。



# ガスでも動く車



まず、届ける社員が、  
確実に届けられるようにしました。

震災後は、ガソリンが不足します。  
で、どうしたかというと、

ガソリン車だけではなく、  
すでに使用していたのですが、

ガスでも動く車の台数を増やしました。

ガス会社ですから。 (‘◇’)ゞ





バイフューエルという方式を使い、  
「ガスでも動くエンジン」に  
することができるのです。

例えばガソリン代が高くなっても、

ガスを使う事で、  
全体的なお値段がそんなに変わらないと言  
われています。

バイフューエル車に改造するには、  
ハイブリット車を利用します。

費用は、プラス65万ぐらい。  
とおっしゃっていました。

燃料のガス代が安いので、  
何とかなってくるそうです。





# 発電できる

バイフューエル車は、  
ハイブリット車ですから、



なんと、電気が起こせるんですね♥

現在は、  
「ビークル to ホーム」という

ハイブリット車に蓄えた電気を家で使う仕組み  
というものもあります。

ビークル to ホーム  
「Vehicle to Home」「V2H」



# 車から水が出てくる!?

北良ガスのバイフューエル車は、  
いろいろ改造した中に、もうひとつ



ちょっと面白い物があります。

車に蛇口が付いているんですよ(笑)

その蛇口をひねると、  
車から水が出てくるんです！ (=ω)ノ

空気中にある水分を取り出して  
水を作り出せるシステムが搭載されています。

こちらは、  
プラス20万ぐらいでできるよ～  
というお話を聞きました。  
(システム自体は、別料金)



# 停電がすぐわかる

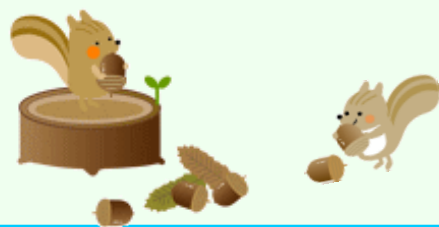
発電機や酸素ポンペを届けるためには、他にも工夫をしています。

停電すると信号を送る電源タップを人口呼吸器などにつなげて、使ってもらいます。

常に通電していると何事ありませんが、電気が切れると、北良ガスのアラートが作動します。

その地区で停電が起こったことがすぐにわかり、

酸素ポンペや電源などを特別仕様車に積んで速やかに届けることができる。というシステムです。



# 居場所は、キャンピングカー

それだけではなく、こんな事まで！

人工呼吸器を使用している方は、  
自分で動くことができず、  
あらゆる介助が必要な方が多くいらっしゃいます。

プライベートがなかなか保てない  
体育館のような避難所では、



不都合なことが起る可能性があり、  
居る場所が無いという事が起こります。

そこで、この会社は

そのような方々に使用していただけるように、  
寝られる場所も作りました。

キャンピングカーまで作って、  
対応できるようにしたのです。



# 発電機スタンバイ！

発電機も、たくさん用意しています。

社員の方たちは、  
いざという時にすぐ、  
発電機を使えるようにしなければなりません。

その為に、奨励金付きのテストがあるんです。

社員の方々は、  
発電機を確実に使えるように、  
訓練に励んでいらっしゃいます。

発電機自体も、古くなれば取り替えます。

災害に備えて、  
そのような工夫、努力をしている会社です。



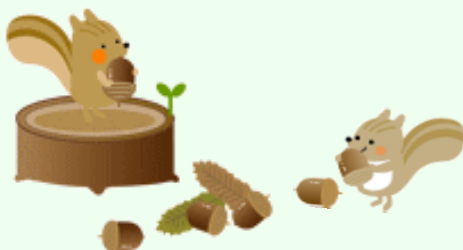


いろいろなところで、多くの方が、

「うちの車を改造しよう！」  
というような動きがあると、

ありとあらゆるところで、  
発電する事ができてきます。

という事になれば、  
災害時もちょっと安心になりますよね。



# 発電モードで蓄電



発電機ほどではなくても  
漕げば発電できる自転車というものもあります。

セブンイレブンがオリジナルカラーの物を  
配達用に導入している、  
電動アシスト自転車がそれです。

「エアロアシスタント」といって、  
(※1)

発電モードがあり、漕ぐと蓄電されます。

メーカー専用のコードを繋いでいただくと、  
携帯電話も充電できます。

※1

<http://www.aero-life.jp/aero/index.html#num5>

回生充電機能を装備。

発電モードで走行するとバッテリーが充電され、  
アシストの航続距離が延びる仕組み。





もちろん、  
モバイルバッテリーなどを持っていただく事も大事  
なのですが、

その場しのぎではなく、

もうちょっと長期に使えるように、  
発電できる物を用意したいですね。

太陽光発電ができるようにしておくなど、  
そのようなバックアップを、

今後考えていったら良いのかなと思っています。



(TEXT/はしも)